



2022年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月31日

上場会社名 菱洋エレクトロ株式会社
 コード番号 8068 URL <https://www.ryoyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中村 守孝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 高橋 正行
 四半期報告書提出予定日 2021年9月9日 配当支払開始予定日 2021年10月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3543-7711

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第2四半期の連結業績(2021年2月1日～2021年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	52,264	14.5	949	28.2	1,125	34.0	830	43.0
2021年1月期第2四半期	45,629	15.9	740	30.2	839	26.4	580	27.1

(注) 包括利益 2022年1月期第2四半期 1,174百万円 (%) 2021年1月期第2四半期 51百万円 (94.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	47.74	46.33
2021年1月期第2四半期	23.58	23.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年1月期第2四半期	62,909	37,952	60.3	2,140.51
2021年1月期	59,336	37,992	64.0	2,188.90

(参考) 自己資本 2022年1月期第2四半期 37,907百万円 2021年1月期 37,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期		60.00		120.00	180.00
2022年1月期		60.00			
2022年1月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	4.4	2,000	57.9	1,950	115.4	1,350	67.5	77.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期2Q	26,800,000 株	2021年1月期	26,800,000 株
期末自己株式数	2022年1月期2Q	9,090,577 株	2021年1月期	9,463,367 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年1月期2Q	17,388,152 株	2021年1月期2Q	24,624,423 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	11
(1) 品目別売上高	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年2月1日～2021年7月31日)における国内経済は、企業の設備投資や生産活動に回復の兆しが見られ、また、新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの接種の開始などにより消費活動も回復に転じることが期待される一方、一部地域における再度の緊急事態宣言の発令や変異株の感染拡大により依然として収束の見通しが立たず、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、製造業全般の正常化が進む中、コロナ禍におけるオンライン活動の普及やデジタル化の加速を背景に幅広い分野で需要が拡大しているものの、半導体をはじめとする部材の供給が追い付かず、一部分野では生産活動に影響が生じているほか、今後の影響の長期化が懸念されております。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は522億64百万円(前年同期比14.5%増)、営業利益は9億49百万円(前年同期比28.2%増)、経常利益は11億25百万円(前年同期比34.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億30百万円(前年同期比43.0%増)となりました。

売上高の品目別の概況は次のとおりです。

(半導体/デバイス)

売上高は283億77百万円で、前年同期より69億73百万円(32.6%)増加しました。

これは、主にデジタル家電向け半導体が増加したためです。

(ICT/ソリューション)

売上高は238億86百万円で、前年同期より3億39百万円(1.4%)減少しました。

これは、主にパソコン用ソフトウェアが減少したためです。

セグメントの業績概況は次のとおりです。

① 日本

パソコン向け半導体が増加したことにより、外部顧客への売上高は360億6百万円で、前年同期より1億90百万円(0.5%)増加し、セグメント利益は8億39百万円で、前年同期より1億43百万円(20.7%)増加しました。

② アジア

デジタル家電向け半導体が増加したことにより、外部顧客への売上高は162億57百万円で、前年同期より64億43百万円(65.7%)増加し、セグメント利益は1億89百万円で、前年同期より1億16百万円(161.5%)増加しました。

なお、四半期連結損益計算書上の営業利益の金額は、上記の各セグメント利益に調整を行い算定しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は629億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億72百万円増加しました。これは、主に商品及び製品が増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は249億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億12百万円増加しました。これは、主に短期借入金が増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は379億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円減少しました。これは、主に配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、投資有価証券の売却等により94億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億6百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が11億26百万円となりましたが、たな卸資産が25億65百万円増加したこと等により、17億74百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ70億51百万円減少しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入15億4百万円等により23億75百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ38億70百万円減少しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れ及び新株予約権の行使による自己株式の処分等により10億14百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ20億24百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2021年3月11日に公表した数値から変更ありません。

2022年1月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響や半導体供給不足問題の動向等により、依然として市場環境が不透明であることを勘案し、期初計画を据え置くことといたしました。

今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,644	9,450
受取手形及び売掛金	25,484	27,296
有価証券	999	502
商品及び製品	11,614	14,402
仕掛品	150	43
その他	1,535	1,259
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	47,423	52,952
固定資産		
有形固定資産	214	196
無形固定資産		
のれん	599	567
その他	245	232
無形固定資産合計	844	800
投資その他の資産		
投資有価証券	8,143	6,258
繰延税金資産	39	52
退職給付に係る資産	1,520	1,541
その他	1,804	1,541
貸倒引当金	△653	△433
投資その他の資産合計	10,854	8,959
固定資産合計	11,913	9,957
資産合計	59,336	62,909
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,263	12,702
短期借入金	6,637	9,175
未払法人税等	92	193
未払消費税等	231	45
賞与引当金	264	254
その他	1,335	1,068
流動負債合計	19,825	23,440
固定負債		
長期借入金	79	62
繰延税金負債	919	968
退職給付に係る負債	212	214
その他	308	269
固定負債合計	1,518	1,516
負債合計	21,344	24,956

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,672	13,672
資本剰余金	13,336	13,336
利益剰余金	33,460	32,111
自己株式	△24,461	△23,498
株主資本合計	36,006	35,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,119	2,125
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△126	219
退職給付に係る調整累計額	△50	△59
その他の包括利益累計額合計	1,941	2,285
新株予約権	43	45
純資産合計	37,992	37,952
負債純資産合計	59,336	62,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
売上高	45,629	52,264
売上原価	40,970	47,282
売上総利益	4,659	4,981
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△0	△1
給料及び賞与	1,526	1,631
賞与引当金繰入額	193	224
退職給付費用	42	95
賃借料	198	199
減価償却費	125	76
その他	1,832	1,805
販売費及び一般管理費合計	3,918	4,032
営業利益	740	949
営業外収益		
受取利息	18	9
受取配当金	93	67
仕入割引	1	0
為替差益	—	25
投資事業組合運用益	1	123
その他	57	21
営業外収益合計	171	247
営業外費用		
支払利息	21	45
売上割引	22	3
為替差損	20	—
支払手数料	7	4
固定資産廃棄損	0	0
その他	0	18
営業外費用合計	72	71
経常利益	839	1,125
特別利益		
投資有価証券売却益	156	24
退職給付信託設定益	47	—
特別利益合計	203	24
特別損失		
投資有価証券売却損	172	23
和解金	39	—
特別損失合計	211	23
税金等調整前四半期純利益	832	1,126
法人税、住民税及び事業税	82	258
法人税等調整額	169	38
法人税等合計	251	296
四半期純利益	580	830
親会社株主に帰属する四半期純利益	580	830

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益	580	830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△413	6
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△98	346
退職給付に係る調整額	△16	△8
その他の包括利益合計	△528	344
四半期包括利益	51	1,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	51	1,174
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	832	1,126
減価償却費	134	89
のれん償却額	10	32
有形固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
株式報酬費用	22	27
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1	△123
為替差損益 (△は益)	△21	24
引当金の増減額 (△は減少)	△302	△233
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△56	8
受取利息及び受取配当金	△111	△76
支払利息	21	45
投資有価証券売却損益 (△は益)	15	△1
和解金	39	-
売上債権の増減額 (△は増加)	8,785	△1,343
たな卸資産の増減額 (△は増加)	191	△2,565
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,239	1,269
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△93	△185
その他	△372	△39
小計	5,853	△1,946
利息及び配当金の受取額	117	82
利息の支払額	△21	△42
和解金の支払額	△38	-
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△634	132
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,277	△1,774
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△21	-
有価証券の売却による収入	-	496
有価証券の償還による収入	-	500
有形及び無形固定資産の取得による支出	△49	△47
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	1
投資有価証券の取得による支出	△2,480	△108
投資有価証券の売却による収入	9,146	1,504
関係会社株式の取得による支出	△98	-
投資事業組合からの分配による収入	85	123
保険積立金の積立による支出	△30	△79
保険積立金の解約による収入	-	85
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△383	△99
その他	77	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,246	2,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,700	38,999
短期借入金の返済による支出	△9,700	△36,702
配当金の支払額	△982	△2,074
自己株式の取得による支出	△0	△1
新株予約権の発行による収入	-	19
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	-	791
リース債務の返済による支出	△18	△18
その他	△7	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,010	1,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	190
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,473	1,806
現金及び現金同等物の期首残高	12,417	7,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,890	9,450

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年6月10日開催の取締役会決議に基づき、2021年6月28日に発行した第三者割当による行使価額修正条項付第4回新株予約権の行使による自己株式の処分により、利益剰余金が74百万円、自己株式868百万円が減少しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が32,111百万円、自己株式が23,498百万円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,815	9,814	45,629	—	45,629
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,595	342	2,938	△2,938	—
計	38,410	10,157	48,568	△2,938	45,629
セグメント利益	696	72	768	△27	740

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

スタイルズ株式会社の全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「日本」セグメントにおいて、のれんが増加しております。当該事象によるのれんが増加額は、当第2四半期連結会計期間において、642百万円であります。

なお、この増加額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額でありましたが、当連結会計年度末までに確定しております。この増加額に変更は生じておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,006	16,257	52,264	—	52,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,233	687	3,920	△3,920	—
計	39,239	16,945	56,184	△3,920	52,264
セグメント利益	839	189	1,029	△79	949

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

② 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産にかかる重要な減損損失を認識していないため、また、のれんが増加しているため、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(新株予約権の行使による自己株式の処分)

2021年6月10日開催の取締役会決議に基づき、2021年6月28日に発行した第三者割当による行使価額修正条項付第4回新株予約権の一部について、2021年8月1日から2021年8月27日までの間に、以下の通り行使され自己株式の処分が行われております。

(1) 行使新株予約権の数	2,533個
(2) 処分した自己株式数	253,300株
(3) 行使価額の総額	532,024千円

3. 補足情報

(1) 品目別売上高

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)		増減額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
半導体/デバイス	21,403	46.9	28,377	54.3	6,973
I C T/ソリューション	24,226	53.1	23,886	45.7	△339
合 計	45,629	100.0	52,264	100.0	6,634